

保幼小中一貫教育だより ～豊かな自然と豊かな人材で豊かな子どもを育てる～



豊能の風

発行：豊能町教育委員会 第29号 R2.9.1

学校再編・保幼小中一貫教育説明会開催

本町の学校再編について、令和2年8月12日の豊能町総合教育会議において基本的な方向性が確認されました。学校園所の再配置に向け、「保幼小中一貫教育」は新たなステージに入ります。そこで、今後の取組について、ご理解をいただくため、説明会を開催しています。保護者・地域住民の全ての方々へ説明会を開催すべきところですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、出席者等を制限し開催していますことをご了承ください。



説明会等でいただいたご質問・ご意見に対する回答は、豊能町ホームページに掲載します。どうぞよろしくお願いいたします。

令和8年度「義務教育学校」開校に向け、「保幼小中一貫教育」を進めていきます。

<平成28年度からの取組>

- 「とよの学」「キャリア教育」の研究
- 「とよの授業スタンダード」の作成
- 「授業公開カレンダー」の作成
- 「家庭との連携シート」の作成
- 保幼小・保幼中・小小・小中連携
- 「学習規律と生活規律」の作成
- 「家庭でできる学びのススメ」の作成

<今後の取組>

- 幼児期の学びを小学校の学習に円滑につなげるための「保幼小接続カリキュラム(スタートカリキュラム)」の作成
- 小学校1年生から中学校3年生までの学習内容をつなげる「小中一貫カリキュラム」の作成
- 中学校教員が小学校で授業を行ったり、小学校教員が中学校で授業を行ったりする「相互乗り入れ授業」の実施
- 中期(5.6.7年)に焦点をあて、「教科担任制」「50分授業」「5年生からの部活動」等の検討
- 東西でSkype(webを通じて映像を送る)を活用した授業、交流行事の推進
- ふるさと豊能について学び、豊能の未来を考える「とよの未来科」の創設
- 町独自の学力・体力・生活調査「とよのチャレンジ」の実施



ひかり幼稚園 デイキャンプ

7月31日に、ひかり幼稚園でデイキャンプが行われました。

この取組は、忍者学校の校長先生(じゅうもんじ じゅうざぶろう)から4月に手紙が届くところから、活動がスタートしました。当日までに、「三つ編み」「変身の術」「雑巾がけ」などの様々な忍者修行に取り組んできました。

当日は、幼稚園が忍者学校に変身しており、そこで子どもたちは忍者学校の特別授業を受けました。



忍者銭(忍者学校のみで使えるお金)でお買い物をしたり、ミサガを編んだり、みんなで協力して忍者カレーを作ったり、次々と忍務(任務)をクリアしていきました。



子どもたちの学びと育ちをつなぐ

幼稚園教育要領、保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領には、幼児期の教育の方向性を示すために「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」(10の姿)が示されています。小学校の学習指導要領の中では、この「10の姿」を踏まえた指導を工夫することが明記されています。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿(10の姿)」

- (1) 健康な心と体 (2) 自立心 (3) 協働性 (4) 道徳性・規範意識の芽生え
- (5) 社会生活との関わり (6) 思考力の芽生え (7) 自然との関わり・生命尊重
- (8) 数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚 (9) 言葉による伝え合い
- (10) 豊かな感性と表現

ひかり幼稚園のデイキャンプの取組のように、幼児期の教育では、自発的な活動としての遊びの中で、これらの力を育てています。豊能町では、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが小学校教育に円滑に接続されるよう、保幼小をつなぐ接続カリキュラムの作成を検討していきます。

※ この号では、ひかり幼稚園のデイキャンプを取り上げましたが、吉川保育所や認定こども園ふたば園でも同様の取組を行っています。